

## X線造影剤説明書

ID:

患者さま氏名:

---

あなたが受けられる検査では、造影剤という検査薬を使用します。この薬の使用にあたり、あらかじめX線造影剤使用の同意をいただく必要があります。担当医の説明に納得されましたら「X線造影剤使用同意書」にご署名下さい。

・造影剤とは

診断にあたって情報量を増やし診断を容易にするために使用する薬で、通常は静脈内に投与します。

・造影剤を使用する利点

注射された造影剤は、血管を介して全身の臓器に分布していきます。それによって血管や臓器の状態また病変の性状が分かり、画像診断上、重要な情報を得ることができます。

・造影剤注入について

検査精度を高くするために、造影剤は注入器を用いて急速注入します。十分に注意を払い検査を行っていますが、ごくまれに、ご高齢や病状により血管がもろくなっている患者様には、血管外へ造影剤が漏れ出すリスクがあります。万が一漏れた場合には必要な処置をいたしますが、処置の内容によっては追加で治療費がかかる場合があります。

・造影剤の副作用について

近年、副作用の少ないものが開発されていますが、それでも危険性を完全になくすことは出来ません。軽微な副作用を含めて約3%の患者さんになんらかの副作用が生じてます。この副作用には検査中や直後に生じる即時性のものと、検査終了後数時間から数日後におこる遅発性のものがあります。

・即時性の副作用について

即時性副作用のほとんどが、くしゃみ、発疹、かゆみ、吐き気、といった軽いものですが、まれに嘔吐や息苦しいといった症状が出る場合があります。また1万人に4人程度の割合でショックなどの重篤な副作用を生じることもあります。極めてまれですが死に至るケースも報告されています。

・遅発性の副作用について

まれに検査終了後から数日後の間に体がだるくなったり、頭痛がしたり、じんま疹が出る場合があります。

・副作用発生時の対応について

1) 即時性の副作用の場合

検査中は放射線科医が待機しており、また看護師と放射線技師は常にそばについていますので、何か異常が起きた場合には早急に対処します。予期せぬ出来事に対しては、放射線科医と主治医が最善の対処をいたします。

2) 遅発性の副作用の場合

先に述べた症状や、その他に何か異常が現れた場合には、大田市立病院までご連絡ください。24時間対応いたします。

※尚、この説明書は同意書と共に複写をお渡しします。

説明医 :

---

立会人 :

---

大田市立病院 電話 0854-82-0330